

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	3 / 1957 / 41-42
タイトル	八甲田のウラキンシジミ異常型について
著者名	沼田征三

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

八甲田のウラキンシジミ異常型について

沼田 征三

八甲田山中に於いて私が初めてウラキンシジミ *Cobana ibata* を採ったのは二年前の1955年7月7日でしかしまであつたが、今年になつてから本校生物員の室谷、楳井、佐々木君等が同じ場所から35頭近くも乱獲採集?して来たのはいさゝか驚かされた。内訳は32年7月21日7頭、22日3頭、28日7頭、29日8頭、という訳である。

元来ウラキンシジミなるものは私の今迄の知識によると、そう容易に採集出来ぬものと思つており、2年前にとつた“やつ”をおおいに自慢もしていたのであるから全くあいた口がふさがらなかつた。しかも唯多数採集したばかりでなく、県におけるウラキンシジミの食草を確認し、且又卵まで採卵してきたというから益々あいた口がふさがらなかつた。そのような理由で私は決して乱獲をしたのではないと思う。すなわち研究資料のためやむを得ず多数採つて来たのであつて、ウラキンはまだまだ採れると思う。

八甲田山中ゼイファイル多産地帯は海拔700~1000mの尽なお暗いウツウたる原始林地帯のことで、ミズナラ、フナ、ナラ、マンサク、ユバノトネリコ、ヤマザクラ、etc. 各種ゼイファイルの食する木は大抵ある。そこに産するゼイファイルを上げれば、アイノミドリシジミ、ウラキンシジミ、メスアカミドリシジミ、アカシジ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ウスイロオナガシジミ、ウラミズシジミ、フジミドリシジミ、エドミドリシジミ、ジョウザミドリシジミ枚挙にいとまがない。朝ク時へは晴々天気がよく、もちろんミズナラのある所は全部そうであると思うが、このほか、八甲田山中はジョウザンミドリシジミが多い。天気が悪く、ウスイロオナガ、ウラクロシジミなんか都合よく顔を見せてくれるから、まさにゼイファイルの空庫?と言っても過言ではない。

話をウラキンシジミにもどすが特に明記したいことはそれらの中に1号 *ab. akio Esaki* を採集したということである。江崎悌三、白水隆共著の「日本の蝶」によると、この異常型は、

Cohenia ibaraki と *Cohenia heaph. aelis* との類縁を説明するもので注目すべきものである云々であるが、分類学的なものは別としてチヨウセンアカシジミの産する三陸も近いことだし、この八甲田山中にも産する様な気がしてならないが確認した訳ではないから誤解しない様に-----。

(筆者は三年)

正 誤 表

原本に「正誤表」が付属している場合、該当部分を以下に転記しています。「行」は、原則としてタイトル行なども含む上からの行数です。「u」が付く場合は下からの行数です。）

頁	行	誤	正
41	1	(タイトル直下に右図とキャプションを追加)	 <p style="text-align: center;">図 ウラキシジミのA型を表した個体。</p>
41	u19	きたのは	きたのには
41	u11	尽なお暗い	昼なお暗い
41	u10	コバノトリネコ	コバノトリネコ
41	u7	ウラミスズシジミ	ウラミスジシジミ
41	u6	枚挙	等々